

たかさご新聞

119期向け同窓会説明会を開催 人生100年時代 新たな仲間と輝く次のステージへ

11月4日（火）くおよび11月17日（月）くに、119期生を対象とした同窓会説明会と入会相談会を組別にそれぞれ3回開催しました。

大学校生活（1年）修了後も、「外へ出て、人と交流し、頭と体を使う」ことが生きがいの鍵となります。高砂同窓会は、そのための最高の舞台を提供します。

よくある質問（Q&A）

Q1. 「クラス会」とはどのような組織ですか？

A1. 大学校修了後、同じ曜日（月・水・金）のコー

スマホで役所の手続きや防災対策も 今話題のAIやマイナポータルも学べます



無料で学べる第2弾のスマホ教室を開催します。電

スマホ教室の受講申込方法			
申込方法	12月4日（木）～同窓会事務局窓口にて直接お申し込みください（電話予約不可）		
受講回数	苦手な分野は何度でも。好きな講座を自由に選んで、何回でも受講可能です。		
受講人員	定員15名。講師3名（講師協力：ドコモさん）		
受講時間	各回PM13:30～PM15:45		

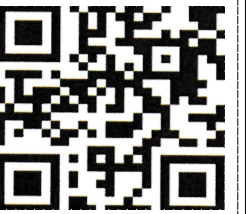
スマホ教室の開催スケジュール					
回	月	日	会場	講座種類	
1	12	16	火 第2会議室	A講座	
2	12	17	水 第2会議室	B講座	
3	12	19	金 第1会議室A	C講座	
4	1	16	金 第1会議室A	D講座	
5	1	19	月 第1会議室A	E講座	
6	1	21	水 第1会議室A	F講座	
7	1	23	金 第1会議室A	A講座	
8	1	28	水 第1会議室A	B講座	
9	1	29	木 第1会議室A	C講座	
10	2	2	月 第1会議室B	D講座	
11	2	9	月 第1会議室A	E講座	
12	2	16	月 第1会議室A	F講座	



以前に経験した同窓会入会時の戸惑いを話す同窓会スタッフ

同窓会入会までのステップ（入会から活動開始までの流れは以下の内容です）			
Step1	Step2	Step3	Step4
119期の各組のクラス役員（会長等）を決定。	クラスメイト全員で、会長を通過して同窓会へ（※クラスが同窓会の基本単位です）	「119期クラス会員」兼「高砂同窓会会員」として登録完了。	以下の活動に参加が可能です。 Step4A クラスメイトと相談してクラス会活動を計画 Step4B 興味のあるサークルに自由に参加 Step4C 同窓会イベント（体育まつり等）に参加

発行
高砂大学校同窓会
会長 泉屋和雄
〒920-0901
金沢市彦三町1-15-5
金沢中央公民館2F
TEL (076) 261-8101
FAX (076) 261-8149
(HP) http://www.takasagoob.net



QRコードでホームページ

Q2. クラス会の行事にはどう参加しますか？

A2. 定期的な正副班長ミーティング等でクラスメイトの要望を聞き、活動内容（ランチ会、バス旅行など）を自由に決めます。「金沢市生涯学習バス」の補助金を利用した研修旅行などにも人気です。

Q3. 「高砂同窓会」とはどんな組織ですか？

A3. 卒業したら「すぐに入れる」組織です。運営は各クラスから選出された役員（R8年度は113期～118期から選出）による「みんなで作る」体制をとっています。

笑顔あふれる「楽しいレッスン会」が1番

英会話レッスン会 副会長 110期1組 稲葉 幸子
R6年6月6日、小野会長の働き掛けにより発足した「高砂英会話レッスン会」は、1年半が経過し、軌道に乗って充実の2年目を迎えることができました。

当初は会員が集まるだろうかと不安もありましたが、ジノビッチ・ニコラ先生をお迎えしてスタートすると、幸いにも会員数は着実に増加し、時に入会をお待ちいただくほど盛況となっております。

「Smile and have fun」をモットーに、「楽しいレッスン会が1番」を掲げる当クラブは、いつも笑い声が絶えません。11月はハロウィ

Q4. サークル活動に参加するには入会が必要ですか？

A4. はい、同窓会への入会が必要です（会員登録チェックあり）。正式な活動は4月からですが、多くのサークルで随時「体験参加」を受け付けています。

119期のみなさんの同窓会入会を、心よりお待ちしております。

同窓会入会費用や不明点のお問合せ等について		
項目	金額	備考
同窓会入会金	500円	初回のみ
同窓会年会費	2,000円	毎年（「たかさご新聞」発行や運営費等）
クラス会費	1,000円程度	※クラス毎に決定（親睦活動費や通信費等）
サークル会費	別途	※所属サークルにより異なる

この不明な点は、高砂同窓会事務局（彦三館2階）へお気軽にお越しください。「同窓会入会相談」とお伝えください。同窓会スタッフが即対応します。受付時間は平日10:00～15:00です。

クラス会研修旅行で訪れた水月湖の年縞 世界標準のもののさし 7万年の奇蹟

114期2組 会計 九川 靖子
いいよ水曜会（114期2組）は、10月22日（水）にクラス会の日帰り研修旅行（バスで18人が参加）で福井県年縞博物館を訪ねました。

年縞というものは湖の底に堆積物によって形成された縞模様様の層のことで、木の年輪のようなものです。三方五湖の一つ水月湖の年縞は、7万年分、45メートルに達します。七万年もの年縞は世界でも水月湖だけです。

水月湖に川が流れ込んでいないこと。とても深いので湖底に酸素がなく魚がいないこと。そして嵐の影響を受けないこと。地層がわずかず沈んでいるため湖が埋まらないこと。これらの奇蹟が重なり、

世界中の遺跡から発掘された遺物の炭素量と、年縞の層の炭素量（炭素14）を比較することで、考古遺物の年代を測る世界標準のもののさしになっている、という事です。

自然が造り上げた壮大な科学の粋（はかり）、芸術、

彦三会ランチ会で語り合った 日々の楽しみ 来年もこの笑顔で

11月19日（水）、卯辰山会の和食レストランにて「彦三会ランチ会」が開催されました。彦三会は、高齢化によりクラス会運営が難しくなり、代わりに同窓会が運営を引受けています。

彦三会から11名、同窓会スタッフ6名が集い、美味しい食事と共に旧交を温めました。

明るい雰囲気の中、話題は尽きることなくそれぞれの近況へ。夢中になっている活動の数々は、聞いているだけで心が弾みます。ある方の「どんな時も楽しみを見つけ、前向きに暮らす」という姿勢は、私たちに勇気や元気を与えてくれました。「やっぱりこの



お揃いのブルーTシャツの英会話レッスン会のみなさん



年縞博物館前で集合写真



横に展開した7万年（45m）の年縞



彦三会ランチ会に参加された笑顔のみなさん

復興への祈りを込め
見て・食べて・買って応援 秋季研修旅行

OB生きがい会 事業部長

104期3組 館 洋一

OB生きがい会は10月23日（木）、秋季研修旅行を実施しました。能登半島地震から2年近くが経過するも、未だ復興に尽力している能登の現状を体験し、応援することを目的としたものです。当日は30名の参加者に乗せたバスで金沢を出発し、七尾駅へと向かいま

した。七尾駅からは「のと鉄道語り部列車」に乗りこした。輪島塗や田鶴浜建具などの伝統工芸品で装飾された観光列車「里海号」に揺られながら、地元語り部による震災当時の状況や、倉方面へ移動し、隠れ家の

ような名店「能登寿しのお寿し」にて昼食を摂りました。ホテルのオーナーの私邸を改装したというこのお店は、閑静な住宅街にありながら料亭のような佇まいで、手入れされたお庭を含めた空間そのものがご馳走でした。今回の旅行費用の半分以上をかけた「寿し会席」は、七尾特産の「赤西貝（海のルビー）」をはじめとする能登の海の幸がふんだんに使われており、その美味しさを堪能しました。午後は「のと里山里海ミュージアム」を見学しました。学芸員の方に出迎えていただき、エントランスホール

の床に描かれた巨大な能登の地図や、歴史・文化を紹介する展示を見ながら、能登の豊かさを再発見する学習の時間となりました。



穴水駅の前で集合写真

旅の最後は、「私たちが即できる復興応援は、現地にお金を落とすこと」との思いから、穴水物産館や能登食祭市場で買い物をしました。能登の現状を知り、その魅力を再確認した有意義な一日となりました。

阿部豊寿先生 金沢市文化活動賞受賞記念
祝賀会に出席して

高砂寿雪書道会

108期1組 源田 孝子

11月14日（金）午後6時より、金沢東急ホテルにおいて豊寿先生の受賞記念祝賀会が開催されました。わが「高砂寿雪書道会」からも33名の有志が参加し、お祝いさせていただきました。

今回評価されたのは、国宝の寺院等での奉納揮毫（きこう）や、能登半島地震復興支援など多岐にわたる先生の活動です。その一端に、私たち書道会もわずかながら参加させていただいていることを、大変誇らしく思います。祝賀会は、同じく文化活動賞を受賞された朗読家・

戸丸彰子さんの司会により開会。生田流筆奏者・北村雅恋さんが奏でる地歌箏曲「萬歳」の調べで、厳かに始まりました。その後、北村さんが先生をイメージして作曲した「豊穰」の曲とともに、先生ご自身による揮毫へと続きました。「創造都市金沢にて」と副題のつく金文字の「創」。力強い筆運びに会場は魅了されました。先生からは伝統文化や書道家としての在り方についてのご挨拶があり、来賓の村山市長によるご祝辞、十几年来親交のある門前総持寺祖院・高島副監院のご発声による乾杯となりました。総持寺からは、二度の地震

被害を受けながらも「曙光」をテーマに着々と復興をめざすという力強い言葉もありました。おいしいお料理をいただき、仲間たちとの会話も弾みました。村山市長ご夫妻によるフルート演奏「見上げてごらん夜の星を」や「糸」に聞きほれ、戸丸さんによる室生犀星「あきよめ」など四編の詩の朗読には、その心地よい声に会場全体が癒やされ、酔いしれておりました。引き出物の色紙を一齐に開くと、そこには本日の揮毫と同じ「創」の文字が。先生が一枚一枚心をこめて書かれたと知り、百人余りの出席者皆から「ほうつ」と感嘆の声が上がりました。小間井市議の力のこもった「一本締め」で散会とな



祝賀会で演奏中の市長ご夫妻

り、あつという間の二時間でした。いただいた色紙は、さっそく我が家のささやかな床の間を華やかにしております。先生の長年の功績が認められたこの度の栄誉を心よりお祝いし、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。本当におめでとうござい

秋晴れの有意義なひと時
庭園鑑賞・長町散策とランチ会

庭園鑑賞・長町散策とランチ会

106期3組 会長 轟 健正

秋晴れのもと、クラス会員十名が、長町に集まりました。「10月21日（火）」まず、今年4月に一般公開されたばかりの「千田家庭園」で、石橋、石灯籠、池等兼六園を模したという庭園や大野庄用水から引いたやり水を鑑賞し、水琴窟の水音に耳を傾け、資料館で幕末の加賀藩と千田家に思いをいたしました。

その後、長町界限を「まいどさん」の案内で散策し、金沢老舗資料館や武家屋敷跡の説明を受け、日頃、何気なく眺めていた風景を改めて見直しました。同時に、外国人観光客の多さに驚き、金沢人気を実感しました。ランチ会場の同窓会協力事業所「金沢東急ホテル・



千田家庭園で集合写真

飛騨高山まつりの森と高山美術館
毎年恒例の日帰り研修の旅

飛騨高山まつりの森と高山美術館

109期2組（まれの会）

会長 塚西 協三

109期2組「まれの会」は、10月21日（火）、クラス会活動として毎年恒例の日帰り研修旅行を実施し、総勢16名が参加しました。当日は爽やかな秋晴れに恵まれ、朝8時30分に金沢駅西口を元気に出発しました。

最初の見学地「飛騨高山まつりの森」では、地中ドームのミュージアムへ。一歩足を踏み入れると、そこは一年中「高山祭り」の華やかな世界です。参加者一同、飛騨の伝統と迫力に圧倒されました。

続いて訪れた「飛騨高山美術館」では、世界的なガラス工芸や家具を鑑賞しました。移ろいゆく空間の中でゆったりと教養を高め、心豊かな時間を過ごすことができました。最後は、商人町として栄

俳句・短歌

石路句会

木洩れ日の斑に光る石路の花
古庭に明りを点す石路の花
うたた寝をせんと駆け込む炬燵
炬燵なき電化の住まいやつと慣れ
賑やかな孫等と炬燵陣取りす

翠風 湊華
眞素美 和子
義景

雪椿句会

来る年の思いを込めて日誌買う
時差越えて名月晴れやか野球漬け
秋薔薇の赤白青と咲き競ふ
山霧や墨絵の如く散居村
断捨離を逃れたネクタイ雪の柄

高二 鉄男
順治 節子
房義

OB短歌会

あめ美味しい 孫の声聞き振り向けば注いだ棒茶の香りに笑顔
菊久ちゃんと共に生きたり三時間多少の縁か「国宝」は宝
挨拶を犬の名前で交わす朝飼いの主の名は知らないままに
夏が来て「晴れば猛暑降れば豪雨」言われいし噂現実となる
台所仕事好まぬわが持てば銃刀法違反かもしれぬ包丁

美代子 明美
輝子 鎮子

金沢を歌って踊るひびき会

高砂金沢ひびき会 会長

106期3組 轟 健正

えた「高山古い町並み」を散策。情緒ある城下町の風景や土産選びを楽しみました。帰路は予定より30分ほど遅れましたが、無事に金沢へ到着。来年の再会を堅く約束し、級友との絆をさらに深めた一日でした。

金沢に関するものならなんでもあり！「専門レストランより大衆食堂」で、メニュー（演目）は、民謡、歌謡曲、木遣り、相撲甚句、詩吟、小唄等、ジャンルを問わず取り組んでいます。モットーは「上達より楽しさ」、毎月第1・第3金曜日、午前10時から1時間、

彦三館2階視聴覚室で、村中・細川両講師のリードで楽しいひと時を過ごしていきます。十八番は、へ山は白山、殿なら前田くゝの「百万石ぶし」と「加賀ばやし」、どちらも昭和二十年代の曲で、外部で披露すると、高齢の方から「あ懐かしい」と好評です。今年は、恒例の高砂一座発表会、生きがい演芸発表会出演に加え、新しい試みとして「高砂草笛愛好会」にお願ひし、彦三館ロビー「ランチタイムオンスタージ」でコラボを実現しました。



演芸発表会に出演中の金沢ひびき会

来年は、新たに楽器演奏に挑戦し、レパートリーを広げたいと考えています。これからも活動内容を更に充実させ、身体と声のフレイル予防にも成果をあげていきます。